

一般質問

新たな経営安定対策に 対する佐渡農業の 対応について



中村剛一 議員

している。

農林水産課長補佐

この対策を
活用した集落の協業化は担い
手育成にも必要なことである。
品質奨励金等の加算について
は、どういうやり方があるか
検討したい。

算定基礎を明らかにすること、
また部長制により決裁スピー
ドの遅れが生じないか。

市長 人員配置については

一定のルールに沿って配置す
る。電子決裁を含め、決裁方
法を考えたい。

新規就農者の 受け入れについて

質問 2007年に生じる
大量の退職者を佐渡に受け入
れるため、他に先駆けて「受
け入れ意思がある」ことを発
信すべきである。そのために
農地や住居の確保対策が必要
だと思いがどうか。

学校飼育動物の 管理について

質問 学校飼育動物の飼育
管理については、佐渡獣医師
会の指導を受けて、適正な飼
育・衛生管理を行うべきであ
る。

市長 現在は公社を介して
受け入れを行っている。今後
は受け入れ体制を整備する。

学校教育課長 獣医師会と協
議を行い、指導を受けるよう
取り組みたい。

度津線改良工事について

組織機構改革について

質問 組織機構改革は組織
の「あるべき姿」を示した上
で段階的に行うべきである。
支所別定数配分については

市長 住民の意向に沿って、
できるだけ早期に完成するよ
う働きかけていく。

質問 度津線（旧称）改良
工事について、県に早期完成
を働きかける考えはないか。

質問

平成19年度から始ま
る「品目横断的経営安定対
策」は担い手農家のみが対象
となる。佐渡においては土地
の流動化が進まないなか、担

い手確保が十分とはいえない。
担い手育成にあたっては、

市長 新たな対策の実施に
必要だと考えるがどうか。

よって、佐渡農業が混迷化す
る危険性を含んでいる。
県やJAとの協議を進めな
がら、集落営農を含めて担い
手育成に努めたい。

質問

「農地・水・環境保全向上対
策」は、集落の協業化に対す
る支援策である。この制度を
利用した集落の「緩やかな協
業化」を進めることが担い手
育成につながると考えるがど
うか。また、この対策に対し
て市独自の支援策を考えてい
るか。

市長 環境保全型農業に対
する支援策として、転作の枠

外の取扱いを実施することと

